

令和3年9月

青森県議会第307回定例会

公益社団法人青森県観光連盟  
経営状況説明書

青 森 県



公益社団法人青森県観光連盟経営状況説明書を地方自治法  
第243条の3第2項の規定により提出する。

令和3年9月17日

青森県知事 三 村 申 吾



# 第1 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、観光振興と青森県観光物産館管理運営のため、次の事業を実施するものである。

## 1 観光振興事業

### (1) 開発推進事業

#### ① 観光開発推進事業

インバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協働で観光コンテンツの発掘と磨き上げを行っていく。

また、インバウンドに精通した旅行会社等を活用し、県内各所での体験や宿泊を伴う周遊観光を促進するため、富裕層を中心とした需要が高まっているアドベンチャートラベルを軸とした旅行商品企画を創出するとともに、当連盟で企画した旅行商品の流通促進を図るため、海外旅行社・ランド社等のネットワークを構築し、情報の周知を進める。

併せて、インバウンド旅行客の満足度向上のため、県内観光事業者等のおもてなし力向上を図るためのコンサルティング事業を実施する。

ア 県内観光コンテンツ発掘調査

イ 旅行商品企画の創出

ウ 海外旅行社・ランド社等への旅行商品流通促進

エ インバウンド観光客向けのおもてなし力の向上

#### ② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行うほか、魅力向上を図るための普及を行う。

#### ③ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を実施する。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

イ 教育旅行促進強化事業

④ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開する。

- ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催
- イ あおもりMICE誘致活動事業
- ウ 大規模MICE開催費助成事業

(2) 情報発信事業

関係機関と連携した県内外イベントへの参画やガイドブックの作成等のPRを行うほか、IT技術等を活用しながらターゲットに合わせた効果的かつ効率的なプロモーション活動を通じた情報発信を展開する。

① 東北DC青函推進委員会事務局

2021年4月～9月までの6ヶ月間実施される、東北6県DC（道南地域含む）の本県事務局を担う。

東北全域エリアと総括する事務局は東北観光推進機構が担うこととしており、青森県とともに「青森県部会」を構成する位置づけで、本県独自に行う事業の推進母体となる。

- ア 東北DC青函推進委員会総会の開催
- イ 地域連絡会議の開催
- ウ 宣伝広報
- エ オープニング、クロージングイベントの開催
- オ 観光キャンペーンイベントの開催
- カ 青森県・道南地域を周遊させる企画の実施
- キ ポスター等の掲示
- ク 各種PRプロモーション
- ケ 観光資源のブラッシュアップ、受入意識醸成等

② 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や青森県・函館デスティネーションキャンペーンの効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図る。

- ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命
- イ 観光イベントガイドブックの作成
- ウ リゾート列車の運行に係る協議会への参画
- エ 広告宣伝の展開等
- オ 観光イベント等への参画
- カ 青森県観光セミナーの開催
- キ 旅行商品造成対策

③ 県外における誘客促進プロモーション事業

九州圏からの誘客を促進するため、博多どんたく港まつりステージ等に参画し、観光資源及び周遊観光の魅力をPRする。

④ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行う。

⑤ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図る。

(3) インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大に努める。

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された国内外の観光客に対し、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営する。

ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内

イ チャット機能による多言語観光案内

ウ SNSを活用した多言語による情報発信

エ 多言語による観光PRパネル展示

オ 県内周遊旅行商品の販売等

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

③ 韓国誘客対策強化事業

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施する。

ア 韓国旅行商品造成手配会社の招請

イ 新規旅行商品等造成広告支援

ウ FITエージェント及び大韓航空との共同プロモーション

エ インセンティブツアー実施団体の招請

オ インセンティブ商談会への出展PR

④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

⑤ 韓国現地商談会実施等事業

韓国との経済交流を促進するため、物産商談会への出展PRやバイヤーの招請により、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図る。

ア 物産商談会への出展PR

イ 韓国食品関連バイヤーの招請

ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所と連携した、県内企業のビジネス開拓支援

⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業

国際定期便や県外空港を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施するとともに、現地で行われる観光イベントに参加し、情報発信を行う。

ア 台湾でのプロモーション活動（観光博出展、エージェント訪問など）

イ 台湾での観光博出展に係る調整

⑦ 青森・台北線利用促進事業

青森空港発着の国際定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。

(4) その他観光振興事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果をj得るため実施内容のj効果検証や改善に向けた取組を継続する等、体系的なマーケティング活動を強化していくものである。

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図る。

ア 観光ガイド推進連絡会議の開催

イ 観光ガイド研修の実施

③ 観光案内所連携強化事業

県内観光案内所の連携による観光情報の共有及び観光案内体制の充実強化を図る。

ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催

イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催

ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画

④ 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰する。



⑤ 観光振興事業

(公社)日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出する。

⑥ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

イ 東北観光推進機構の事業への参画

## 2 青森県観光物産館管理運営事業

### (1) 観光資源紹介事業

① 青い森ホール／360° 3Dデジタル映像シアター情報発信事業

令和元年7月27日にグランドオープンした青い森ホール／360° 3Dデジタル映像シアターにおいて、本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できるデジタル映像を上映し、本県を訪れる外国人旅行者等にエンターテインメント性と臨場感溢れる3D映像と音響を体感いただき、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図る。

② 13階展望台情報発信事業

13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめる。また令和2年度は実施しなかったが、夜間利用時間の延長等を行い、展望台利用のさらなる魅力アップを図る。

③ 主催イベント展開事業

アスパムの館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催できなかったイベントも多かったが、開館35周年を迎える令和3年度は、主要な主催イベントについては、必要な感染対策を講じ、安心して参加していただける内容として取り組む。

特に、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識したイベントを展開し、来場者の満足度を高め、リピーター確保につなげる取組にする。

さらには、東北DCや県内各地域・各時期のお祭りや各種イベント、JR東日本の大人の休日倶楽部パス等とも連動して効果的に実施する。

④ マチコトバの運営

新しいコト消費の空間として、作家が創作活動を行う「シェアアトリエ」とクラフト作品・雑貨などを中心に人気の飲食メニューも出店する「週末マルシェ」を中心に、新たな価値の創造やユニークな青森の体験や商品を提供する取組を通じて、地域経済を盛り上げ、これからの観光を担う人やビジネスを育てる場所として機能するよう運営する。

(2) 貸会議室事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出する。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの観光客等に向けて地場産品等を紹介・宣伝し、PRを図るとともに、新たな商品開発やインターネットを通じた販路開拓など、利用者の利便性や満足度向上を目指す。

① 地場産品等の販路拡大と商品開発等

こだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供する。

② インターネットを通じた販路整備

コロナ禍の中で、お取り寄せのニーズが高まっていることからインターネットを通じた販路を整備することとし、ショッピングサイトを構築する。

(4) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供する。

(5) 市町村ホール等運営事業

① 市町村ホール観光情報発信事業

2階市町村ホールでは、観光PR展示パネル等により、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を行う。

② 郷土芸能等情報発信事業

アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介するほか、県立郷土館等との連携展を開催する。

### 3 収益事業

(1) イベントスペース

イベントホールは、土日祝日の利用が多いことから、平日や閑散期の貸出しの増加に向け、新たな利用者の開拓を行う。また、1階エントランスホールやリニューアルされた2階「マチコトバ」や13階展望台など、館内のイベント可能なスペースの認知度を向上させ、利用拡大を図る。

(2) 貸会議室

令和3年3月の新システム導入により、最大5つの会議室での研修会等リモートテレビによる同時開催が可能となったことから会議室の利用率向上に向けた各方面への積極的な営業活動を行う。

(3) テナント事業

アスパムには、これまで土産品店（6店舗）と飲食店（2店舗）がテナントとして入居しており、令和2年10月に1店舗退去したものの、同年12月より新たに民工芸店1店舗が新規オープンするなど安定収益の確保に努めている。また、館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会（テナント会）」において、引き続き、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のため各種取組を積極的に行う。

(4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの駐車場収入は、一般・大型バスともに収益の大きな柱となっていることから、利便性等について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への一般駐車場の各種営業や大型バス駐車場の営業についても県内学校団体や県内外旅行会社等へ積極的にPRを行う。

(5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟ホームページ等で販売する。



## 第2 令和2年度事業実績

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度の事業実績は、次のとおりである。

### 1 観光振興事業

#### (1) 開発推進事業

##### ① 観光開発推進事業

- ア 訪日外国人旅行者（主に英語圏）向け旅行商品企画の創出及び観光コンテンツ発掘調査
- イ ホームページの多言語化・予約決済システムの導入
- ウ インバウンド観光客向けのおもてなし力の向上
- エ 県内観光コンテンツ発掘調査

##### ② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザーを活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行った。

##### ③ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら、以下の取組等を実施した。

- ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配布
- イ 教育旅行受入状況調査の実施

##### ④ コンベンション誘致事業

本県へのコンベンション誘致のため、コンベンション開催費助成事業を実施するとともに、関係団体等への誘致活動を積極的に行った。

- ア 商談会参加等
- イ コンベンション誘致のための支援策の創出
- ウ コンベンション開催費助成金

## (2) 情報発信事業

### ① 東北DC青函推進委員会事務局

令和3年4月～9月までの6ヶ月間実施される、東北6県DC（道南地域含む）の本県事務局を担った。

ア 東北DC青函推進委員会の設立・総会の開催

イ 地域連絡会議の開催

ウ 6県合同のエクスカージョン、観光商談会、夕食会の実施

エ 青森県独自のエクスカージョンの実施

オ 民間鉄道・JR線車輦内広告ポスターの制作・掲示

カ 東北DC着地型ガイドブックの制作

キ 着地型お出迎えポスターの制作

ク 青函周遊スタンプラリー企画の準備

ケ 東北DCにむけた機運醸成のための新聞広告及びテレビCMの放映

コ ノベルティグッズ等の制作

サ 青森県観光物産館への横断幕掲出

シ オープニングセレモニー実施に係る準備

### ② 観光キャンペーン推進事業

ア 観光イベントガイドブックの作成

イ 観光イベント等への参画

ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

エ 商品造成対策

### ③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

### ④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

### ⑤ 「あおもり宿泊キャンペーン」事業

青森県内在住者を対象に、県内大規模宿泊モニターキャンペーンを実施した。

⑥ 「冬の青森・ごほうびキャンペーン」事業

青森県内在住者を対象とした、「あおり宿泊キャンペーン」と連携し、宿泊者に対する県産品ギフトプレゼントキャンペーンを実施した。

(3) インバウンド対策事業

① あおりグローバルラウンジ運営事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、アスパム2階のカウンターを休止し、事務局において観光案内・情報発信等を行った。

ア 県内全般の観光案内

イ チャット機能による多言語観光案内

ウ SNSを活用した多言語による情報発信

エ 県内周遊旅行商品の販売等

② 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

③ 韓国誘客対策強化事業

ア 北東北三県・北海道共同観光オンライン商談会

イ 第7回日韓フォトコンテスト後援

ウ 観光パンフレット作成

④ 台湾人観光客誘致拡大事業

台湾からの観光客の誘客促進を図るため、現地アドバイザーと連携して、観光PRイベントへの販促資材等の送り込み等を行った。

(4) その他観光振興事業

① 観光案内所連携強化事業

東北の観光案内所のネットワーク化事業へ参画し、WEB会議等による各観光案内所相互の情報共有を図った。

② マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取組検討を行った。

③ 「もてなしの心」運動推進事業

感染防止対策を強化する一環として、観光ガイド推進連絡会議の構成員である観光ガイド団体に対して、ガイド中のソーシャルディスタンスの確保や感染防止対策ガイドライン等の研修、ガイド用機材の貸出を行った。

④ 観光事業者等に対する新型コロナウイルス感染防止対策セミナー開催

県内宿泊施設や観光施設等における感染防止対策を徹底するため、ガイドラインや参考事例の情報共有等を目的としたセミナーを開催した。

⑤ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

イ 東北観光推進機構の事業への参画

⑥ 観光振興事業

(公社) 日本観光振興協会が実施する全国広域観光事業に対し拠出した。

## 2 青森県観光物産館管理運営事業

### (1) 観光資源紹介事業

① 青い森ホール「360° 3Dシアター」での映像上映

本県の四季の映像と祭りの映像を迫力ある360°スクリーンで上映した。なお令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、3D映像の上映を中止し、2Dのみの上映としたとともに、上映開始と終了時間を変更し短縮して運営した。

② 季節ごとの館内装飾の実施

季節と館内イベントに沿った装飾、フォトスポットを設置した。

③ ホームページやSNSを活用した情報発信

公式ホームページやSNSを活用し、イベント情報等を発信した。特に休館や営業時間の変更等については機動的に発信した。

また、ホームページにおいて、主催イベント特設ページのほか、館内テナント情報についても積極的に情報発信を行った。



## (2) 主催イベント

### ① ドライブスルーマルシェ

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、できるだけ人と人との接触を少なくするため、来場者は車ででの来場に限定し、商品購入も車に乗ったまま行うドライブスルー方式でのイベントを実施した。

### ② G o T o アスパム&スイーツ祭り

県内の夏祭りが中止となり、夏季繁忙期に例年の集客が見込めない中で、お盆期間の集客を図るため、館内で利用できる割引クーポン企画を実施するとともに、県内外で話題のスイーツ販売を行い、集客増・拡販に努めた。

### ③ あおもり肉（にぐ）フェス2020

青森県の肉食文化に注目し、「青森県ならではの」食文化等の紹介と商品の販売で集客を図った。初日は夜まで営業時間を延長したこと、県内の出店者による多彩な肉メニューが揃ったことで、多くのお客様にその魅力を堪能していただいた。なお、2日目は悪天候のため、途中から屋内に会場を移しての実施となった。

### ④ アスパム雑貨店

出店者が商品製作を実演することで「こだわりの逸品」を製作・販売していることをお客様に伝え、「納得して購入して頂く機会」の創出を図るイベントを、県内のクラフト作家等と合同で企画し、実施した。

### ⑤ CHRISTMAS MARKET in アスパム

3年目を迎え、一定程度の集客や認知度は高まってきているものの、更なる魅力アップと閑散期である冬季観光の底上げを行うため、国補助事業である「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業」を活用し、これまで掘り起こすことができていなかった女性やカップルをターゲットに、アートを切り口とした個人旅行向けの観光コンテンツ開発・旅行商品造成を行うとともに、そのコンテンツの中核となるクリスマスイベントを開催し、より幅広い層の観光客の来訪を促進した。

### ⑥ アスパムお正月まつり

各ショップの初売り・福袋企画や、新年の縁起物「門松」「鏡餅」の設置、お正月大抽選会などを行い集客に努めた。

また、今年の干支にちなんだフォトスポットの設置や装飾など正月の雰囲気づくりを行った。

(3) 新たな体験・創造スペース「マチコトバ」整備・運営

アスパム2階のあおり体験ホールを新しいコト消費の空間としてリニューアルし、作家が創作活動を行う「シェアアトリエ」を新たに設けたほか、週末には人気のカフェ・スイーツ店の出店やクラフト作品・雑貨などを中心とした「週末マルシェ」を開催した。

(4) 青森県地場セレクトの取組

① ギフト商品開発アドバイス

青森県西北地域県民局地域連携部からの依頼により、青森県地場セレクトスタッフがアドバイザーとして、地域の商品の詰め合わせギフトの商品開発に協力し、十三湖名産のシジミなどをギフト用に詰め込んだ「お届け奥津軽ダイニングBOX」を作成した。

② 「アマビエねぶた」「ホヤランプ」の開発、販売

新型コロナウイルス感染症の影響が一日でも早く終息してほしいという願いを込め、青森県地場セレクトが提案して完成した「アマビエねぶた（津軽藩ねぶた村製作）」や県や後潟漁協、就労サポートセンターはくちょうの水福連携の取組に青森県地場セレクトが販売に関する協力をすることで、商品化が実現した「ほやランプ」など反響の大きな商品の開発や販売を行った。

(5) テナント事業

本県産業振興と雇用促進を図るため、雇用支援の情報提供施設として、ハローワーク関連施設やジョブカフェ等が入居しているが、令和2年7月には、7階会議室「むつ」後に、人財確保の推進と雇用の安定を図ることを目的とした「あおり人材確保支援センター」が、同年8月には、プロフェッショナル人材と県内中小企業とのマッチングを進め、県内中小企業の経営革新の実現を支援する「青森県プロフェッショナル人財戦略拠点」が相次いで入居した。

(6) 貸会議室事業

館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(7) PRホール運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム2階において、青森県内の市町村に関する映像紹介と県内温泉地紹介コーナー、世界遺産白神山地の写真パネルなどの展示を行い、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力をPRする市町村ホール等を運営した。

### 3 収益事業

展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、イベントホールや会議室等の管理・運営など本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

#### (1) イベントスペース

平日や閑散期の貸出しの増加に向け、また、エントランスや全面リニューアルされた2階青い森ホールや13階展望台など、館内のイベント可能なスペースの認知度向上のため営業活動による利用拡大を図った。

#### (2) 貸会議室

WEB上からの予約申込システムの認知度向上と会議室の利用率向上に向けた新規の職種への営業活動を行った。

#### (3) テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産店と飲食店において、青森県の物産と食の魅力を提供した。

なお、令和2年10月をもって1階「あおり北彩館アスパム店」が退去したものの、青森県物産(株)が県内民工芸品の専門店「あおり民工芸店 クラフトアスパム」を同年12月に新規開業したほか、同年10月には、7階に「あおり旅行誘客推進業務事務局」が入居した。

#### (4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

一般及びバス駐車場は、収益の大きな柱になっていることから、一層の売り上げ拡大を図るため、会議室等の営業に合わせ、アスパム駐車場の利便性・優位性についてPRした。

#### (5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟内やOTA等で販売した。今後も引き続き、青森県内各所を周遊する旅行プランの造成を進めていき、県内観光振興に寄与していく。



# 第3 令和2年度決算報告書

## 1 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
1 流動資産					
現金預金	67,741,531	105,104,176	2,378,923	0	175,224,630
未収会費	70,000	0	0	0	70,000
未収金	19,629,031	2,785,299	136,181	0	22,550,511
前払金	1,236,326	21,100	0	0	1,257,426
立替金	503,189	0	0	0	503,189
棚卸資産	3,141,498	0	0	0	3,141,498
他会計へ振替	191,325,554	5,638,035	0	△196,963,589	0
流動資産合計	283,647,129	113,548,610	2,515,104	△196,963,589	202,747,254
2 固定資産					
(1)特定資産					
退職給付引当資産	37,643,405	15,434,893	388,450	0	53,466,748
出資金引当資産	20,500,000	0	0	0	20,500,000
活性化債立引当資産	12,075,750	585,475	0	0	12,661,225
預り保証金引当資産	0	18,059,178	0	0	18,059,178
アスベスト継続立引当資産	147,341,000	0	0	0	147,341,000
特定資産合計	217,560,155	34,079,546	388,450	0	252,028,151
(2)その他固定資産					
展示物	43,358,121	12,218,799	45,739	0	55,622,659
什器備品	94,523,285	1,173,769	12,369	0	95,709,423
投資有価証券	0	1,500,000	0	0	1,500,000
保証金	1,958,000	2,400,000	0	0	4,358,000
出資金	0	100,000	0	0	100,000
その他固定資産合計	139,839,406	17,392,568	58,108	0	157,290,082
固定資産合計	357,399,561	51,472,114	446,558	0	409,318,233
資産合計	641,046,690	165,020,724	2,961,662	△196,963,589	612,065,487
<b>II 負債の部</b>					
1 流動負債					
未払金	128,158,386	1,069,677	8,242	0	129,236,305
前受金	0	5,174,844	0	0	5,174,844
預り金	711,774	0	20,420	0	732,194
仮受金	54,424	19,988,020	0	0	20,042,444
賞与引当金	4,113,151	1,270,338	82,511	0	5,466,000
他会計から振替	148,415,657	48,547,932	0	△196,963,589	0
流動負債合計	281,453,392	76,050,811	111,173	△196,963,589	160,651,787
2 固定負債					
退職給付引当金	41,758,400	11,527,150	181,198	0	53,466,748
預り保証金	0	18,059,178	0	0	18,059,178
固定負債合計	41,758,400	29,586,328	181,198	0	71,525,926
負債合計	323,211,792	105,637,139	292,371	△196,963,589	232,177,713
<b>III 正味財産の部</b>					
1 指定正味財産					
地方公共団体補助金等	271,296,699	0	0	0	271,296,699
指定正味財産合計	271,296,699	0	0	0	271,296,699
(うち特定資産への充当額)	(167,841,000)	(0)	(0)	(0)	(167,841,000)
2 一般正味財産	46,538,199	59,383,585	2,669,291	0	108,591,075
(うち特定資産への充当額)	(12,075,750)	(585,475)	(0)	(0)	(12,661,225)
正味財産合計	317,834,898	59,383,585	2,669,291	0	379,887,774
負債及び正味財産合計	641,046,690	165,020,724	2,961,662	△196,963,589	612,065,487

## 2 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		
	観 光 振 興 事 業	青 森 県 観 光 物 産 館 管 理 運 営 事 業	共 通
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	2,050
受取事業収益	41,276,000	0	0
観光振興事業	594,679,432	101,470,371	0
青森県観光物産館	594,679,432	0	0
管理運営事業	0	101,470,371	0
青森県観光物産館イベント	0	0	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
駐車場管理運営事業	0	0	0
旅行業運営事業	0	0	0
受取補助金等	27,328,246	45,516,726	0
受取負担金	55,123,260	0	5,940
雑収益	5,711,864	8,071,384	443,094
(2) 経常費用	724,118,802	155,058,481	451,084
経常業務費	702,600,652	189,426,036	22,293,749
経常管理費	0	0	0
経常費用	702,600,652	189,426,036	22,293,749
当期経常増減額	21,518,150	△34,367,555	△21,842,665
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	0	280,000	0
経常外収益	0	280,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	4	0
経常外費用	0	4	0
当期経常外増減額	0	279,996	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	21,518,150	△34,087,559	△21,842,665
他会計振替額	0	0	29,674,963
当期一般正味財産増減額	21,518,150	△34,087,559	7,832,298
一般正味財産期首残高	△129,777,521	△305,590,197	487,717,685
一般正味財産期末残高	△108,259,371	△339,677,756	495,549,983
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0	0	147,341,000
当期指定正味財産増減額	0	△21,255,025	147,341,000
指定正味財産期首残高	0	124,710,724	20,500,000
指定正味財産期末残高	0	103,455,699	167,841,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△108,259,371	△236,222,057	663,390,983

(注) 重要な非損益取引

1 公益目的事業会計

特定資産取崩収入	
退職給付引当資産取崩収入	10,362,619円
特定資産取得支出	
活性化積立引当資産取得支出	10,000,000円

(単位 円)

収 益 事 業 等 会 計				
小 計	青森県観光物産館 イベントスペース・ 貸会議室事業	青森県観光物産館 テナント賃貸事業	青森県観光物産館 駐車場管理運 営事業	旅行業運営事業
2,050	0	0	0	0
41,276,000	0	0	0	0
696,149,803	34,672,921	78,077,052	33,183,577	398,536
594,679,432	0	0	0	0
101,470,371	0	0	0	0
0	34,672,921	0	0	0
0	0	78,077,052	0	0
0	0	0	33,183,577	0
0	0	0	0	398,536
72,844,972	1,125,455	886,600	827,898	976,677
55,129,200	0	0	0	0
14,226,342	2,536,234	2,447,968	1,865,683	2,240,958
879,628,367	38,334,610	81,411,620	35,877,158	3,616,171
914,320,437	38,294,306	38,175,614	18,918,641	11,470,465
0	0	0	0	0
914,320,437	38,294,306	38,175,614	18,918,641	11,470,465
△34,692,070	40,304	43,236,006	16,958,517	△7,854,294
280,000	0	0	0	0
280,000	0	0	0	0
4	0	0	3	0
4	0	0	3	0
279,996	0	0	△3	0
△34,412,074	40,304	43,236,006	16,958,514	△7,854,294
29,674,963	0	0	0	0
△4,737,111	40,304	43,236,006	16,958,514	△7,854,294
52,349,967	69,048,865	337,520,019	123,107,838	△12,079,172
47,612,856	69,089,169	380,756,025	140,066,352	△19,933,466
147,341,000	0	0	0	0
126,085,975	0	0	0	0
145,210,724	0	0	0	0
271,296,699	0	0	0	0
318,909,555	69,089,169	380,756,025	140,066,352	△19,933,466

科 目	収 益 事 業 等 会 計		法 人 会 計
	共 通	小 計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取事業収益	0	0	7,284,000
観光振興事業	1,212,060	147,544,146	0
青森県観光物産館	0	0	0
管理運営事業	1,212,060	1,212,060	0
青森県観光物産館イベント	0	34,672,921	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館テナント賃貸事業	0	78,077,052	0
青森県観光物産館駐車場管理運営事業	0	33,183,577	0
旅行業運営事業	0	398,536	0
受取補助金等	0	3,816,630	1,112,419
取負担金	0	0	0
雑収益	262,170	9,353,013	456,157
(2) 経常費用	1,474,230	160,713,789	8,852,576
経常業務費	23,273,832	130,132,858	0
経常費用	0	0	7,271,345
当期経常増減額	23,273,832	130,132,858	7,271,345
当期経常増減額	△21,799,602	30,580,931	1,581,231
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈	0	0	0
経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	3	0
経常外費用	0	3	0
当期経常外増減額	0	△3	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△21,799,602	30,580,928	1,581,231
他会計振替額	△29,674,963	△29,674,963	0
当期一般正味財産増減額	△51,474,565	905,965	1,581,231
一般正味財産期首残高	△459,119,930	58,477,620	13,403
一般正味財産期末残高	△510,594,495	59,383,585	1,594,634
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△510,594,495	59,383,585	1,594,634



(単位 円)

内部取引消去	合 計
0	2,050
0	48,560,000
0	843,693,949
0	594,679,432
0	102,682,431
0	34,672,921
0	78,077,052
0	33,183,577
0	398,536
0	77,774,021
0	55,129,200
0	24,035,512
0	1,049,194,732
0	1,044,453,295
0	7,271,345
0	1,051,724,640
0	△2,529,908
0	280,000
0	280,000
0	7
0	7
0	279,993
0	△2,249,915
0	0
0	△2,249,915
0	110,840,990
0	108,591,075
0	147,341,000
0	126,085,975
0	145,210,724
0	271,296,699
0	379,887,774

### 3 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位 円)

貸借対照表科目		金 額
(流動資産)		
	現金預金	175,224,630
	未収会費	70,000
	未 収 金	22,550,511
	前 払 金	1,257,426
	立 替 金	503,189
	棚卸資産	3,141,498
流動資産合計		202,747,254
(固定資産)		
特定資産		
	退職給付引当資産	53,466,748
	出資金引当預金	20,500,000
	活性化積立資産	12,661,225
	預り保証金引当資産	18,059,178
	アスパム機能維持積立引当資産	147,341,000
		252,028,151
その他固定資産		
	展 示 物	55,622,659
	什器備品	95,709,423
	投資有価証券	1,500,000
	保 証 金	4,358,000
	出 資 金	100,000
		157,290,082
固定資産合計		409,318,233
資 産 合 計		612,065,487
(流動負債)		
	未 払 金	129,236,305
	前 受 金	5,174,844
	預 り 金	732,194
	仮 受 金	20,042,444
	賞与引当金	5,466,000
流動負債合計		160,651,787
(固定負債)		
	退職給付引当金	53,466,748
	預り保証金	18,059,178
固定負債合計		71,525,926
負 債 合 計		232,177,713
正 味 財 産		379,887,774

## 4 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有、関連会社以外の有価証券・・・移動平均法に基づく原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
展示物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法  
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
退職給付引当資産	61,446,575	2,382,792	10,362,619	53,466,748
出資金引当預金	20,500,000	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	2,661,225	10,000,000	0	12,661,225
預り保証金引当資産	16,996,000	1,063,178	0	18,059,178
アスパム機能維持積立引当資産	0	147,341,000	0	147,341,000
合 計	101,603,800	160,786,970	10,362,619	252,028,151

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
退職給付引当資産	53,466,748	( 0)	( 0)	(53,466,748)
出資金引当預金	20,500,000	( 20,500,000)	( 0)	( 0)
活性化積立引当資産	12,661,225	( 0)	(12,661,225)	( 0)
預り保証金引当資産	18,059,178	( 0)	( 0)	(18,059,178)
アスパム機能維持積立引当資産	147,341,000	(147,341,000)	( 0)	( 0)
合 計	252,028,151	(167,841,000)	12,661,225	71,525,926

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
展 示 物	621,849,430	566,226,771	55,622,659
什 器 備 品	320,036,841	224,327,418	95,709,423
合 計	941,886,271	790,554,189	151,332,082

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
訪日外国人旅行者 周遊促進事業費補 助金	観光庁	0	535,000	535,000	0	-
観光振興事業費補 助金（世界水準の DMO形成推進事 業）	観光庁	0	7,552,820	7,552,820	0	-
誘客多角化等のた めの魅力的な滞在 コンテンツ造成実 証事業	観光庁	0	20,000,000	20,000,000	0	-
あおりMICE 誘致活動事業補助 金	青森県	0	150,176	150,176	0	-
あおり大規模M I C E開催費助成 事業補助金	青森県	0	13,200,000	13,200,000	0	-
観光事業振興費補 助金	青森県	0	910,000	910,000	0	-
青森県観光連盟運 営費補助金	青森県	0	10,121,000	10,121,000	0	-
青森県観光物産館 アスパム内市町村 ホール管理運営費 補助金	(公財) 青森 県市町村振興 協会	0	4,050,000	4,050,000	0	-
青森県インバウン ド受入拠点体制構 築事業費補助金	青森県	124,710,724	0	21,255,025	103,455,699	指定正味財産
アスパム機能維持 事業費補助金	青森県	0	147,341,000	0	147,341,000	指定正味財産
合 計		124,710,724	203,859,996	77,774,021	250,796,699	

## 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	21,255,025
合 計	21,255,025

## 7 その他

### (1) 退職給付関係

- ① 採用している退職給付制度の概要  
中退共制度と退職給付引当金を併存している。
- ② 退職給付会計の計算の基礎に関する事項  
退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

### (2) 特定資産

- ① 活性化積立引当資産  
青森県観光物産館管理運営における活性化策に備え計上している。
- ② 青森県観光物産館アスパム機能維持事業費補助金  
青森県観光物産館アスパムについて、新型コロナウイルス感染症拡大による減収の影響を回避し、施設の安定的な運営を図るため、当連盟が行うアスパムの機能維持に要する経費について、青森県観光物産館アスパム機能維持事業費補助金として青森県より交付されたもの。

## 5 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略している。

### 2 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	5,582,103	5,466,000	5,582,103	0	5,466,000
退職給付引当金	61,446,575	2,382,792	10,362,619	0	53,466,748